

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-キシレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

6 B 6 9 3 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： p-キシレン
- 2) 暴露方式： 止水式（密閉条件）
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度（設定値）： 対照区，助剤対照区， 5.00， 7.00， 9.00， 12.0， 15.0 および
20.0 mg/L （公比1.3， 助剤濃度一定：20mg/L， HCO-30使用）
- 6) 試験液量： 100 mL
- 7) 連数： 4 容器／濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭／濃度区（1 連につき 5 頭で 1 濃度区20頭）
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 被験物質の分析： HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

暴露開始時および48時間後に測定した被験物質の実測濃度が、設定値の±20%を越えたため、各影響濃度の算出には実測値（幾何平均値）を採用した。

2) 24時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 5.91 mg/L (95%信頼限界 : 5.44~6.37 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 4.10mg/L

100%阻害最低濃度 : 9.82 mg/L

3) 48時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 6.90 mg/L (95%信頼限界 : 6.32~7.46 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 5.67 mg/L

100%阻害最低濃度 : 9.82 mg/L